

通し番号	4357
------	------

分類番号	20-24-12-03
------	-------------

(成果情報名) タマネギの早春どりのための作型開発
[要約] 年間を通して常に需要の高いタマネギの早春どり青切り作型には「貴錦」、「浜笑」等の極早生品種を用い、換気用の穴を2条1列備えた資材を12月上旬にトンネル被覆することが有効である。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・野菜作物研究部 連絡先0463-58-0333

[背景・ねらい]

地産地消における有望品目であるタマネギについて、出荷量の少ない3、4月の収穫を可能とする早春どり青切り（結球部上位の約15cmの位置で葉を切断して出荷する）作型を開発し、直売所での出荷品目数の増加につなげる。

[成果の内容・特徴]

- 1 8月下旬～9月上旬に市販培養土を充填した200穴のセルトレイに播種・育苗し、N:P₂O₅:K₂O=25:25:25kg/10aを施用して幅95cm幅の黒マルチで被覆したベッドに10月上旬中に株間15cmで定植する。
- 2 極早生品種のうち「貴錦」、「浜笑」は安定して2月から収穫が可能であり、早春どり青切り作型に好適な品種である（表1、表2）。
- 3 保温トンネル用の被覆資材は、密閉度が高まるのに従い、倒伏が早まり、結球部の肥大が劣ることから、換気用の穴を2条1列備えたユーラックカンキ2号の使用が適する（表1）。
- 4 保温トンネルの設置時期を12月の始めとすると、年次変動はあるものの2月下旬から収穫できる。設置日を10日程遅らせると収穫開始が約1週間遅れすので、設置時期を組み合わせることにより2月下旬から4月中旬まで連続的に収穫できる（表2、図1）。また、収穫が遅れた場合には、葉身部を切除して通常のタマネギとしても出荷することができる。

[成果の活用面・留意点]

- 1 定植作業時の根鉢の崩壊を防ぐため、ピートモスが40%程度混合された培養土を用いる。
- 2 生育期間をとおして病虫害の防除に留意し、葉を付けた青切りで出荷する場合は、防除の際に「葉タマネギ」の適用農薬を用いる。
- 3 年度ごとの気象条件の違いにより収穫時期は変動する。
- 4 タマネギの栽培終了後のマルチ及びトンネル等の資材については、その後のカボチャ栽培等に活用することができる。

[具体的データ]

表1 倒伏まで日数に及ぼす品種及びトンネル資材の影響 (2006年)

品 種	無被覆	ユーラックカン キ4号	ユーラックカン キ2号	密閉後 換気	密閉
MK-A19	5月1日	4月6日	4月5日	3月22日	3月23日
ジェットホール	5月1日	4月3日	3月31日	3月24日	3月21日
スーパーハイゴールド*	4月26日	4月3日	3月27日	3月16日	3月19日
プレスト3	5月3日	4月14日	4月9日	3月30日	3月30日
マツハ	5月11日	4月17日	4月11日	4月3日	3月27日
貴錦	4月29日	3月31日	3月27日	3月21日	3月22日
早生丸秀玉	5月8日	4月11日	4月2日	4月1日	3月24日
浜の宝	5月1日	4月6日	3月30日	3月21日	3月21日
浜笑	4月30日	4月4日	3月29日	3月20日	3月19日

表2 品種およびトンネル設置時期がタマネギの収穫開始時期に及ぼす影響 (2009年)

品 種	トンネル設置日				
	12/5 ^z	12/5 ^x	12/15	12/25	1/5
貴 錦	2/17	2/24	3/9	3/16	3/9
浜 笑	2/17	3/3	3/9	3/16	3/16
トップゴールド320	2/17	3/9	3/9	3/16	3/24
スーパーハイゴールド*	3/3	3/16	3/9	3/24	3/24

注 z: 2008年8月22日播種、x: 同9月6日播種

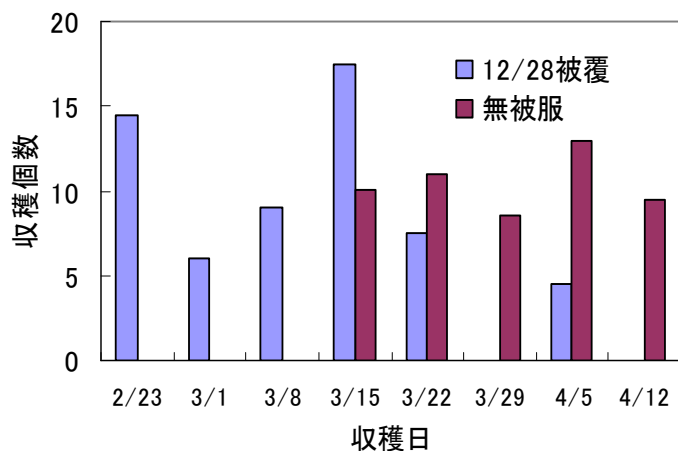


図1 トンネル被覆と無被覆栽培を組合せたときの収穫量の推移事例 (2007年)

[資料名] 平成18年度試験研究成績書 (野菜)、平成19、20年度同成績

[研究課題名] 地産地消に適した園芸作物の新品種選定及び栽培技術の確立

[研究期間] 平成17年度～

[研究者担当名] 北浦健生・北宜裕